

## 令和7年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志舎  
大阪法律公務員専門学校天王寺校  
学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「令和6年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

### 1. 令和7年度学校関係者評価委員会

＜委員＞（五十音順）

岩崎 誉 氏 防衛省自衛隊大阪地方協力本部 中央地区隊長 ※欠席  
 ※代理 菊井 隆紀 氏 中央地区隊 隊本部 班長  
 川邊 陽菜 氏 大阪労働局 総務部会計課 職員  
 北川 愛理 氏 大阪府 泉北府税事務所 納税第一課 主事  
 針原 こころ 氏 大阪地方裁判所 裁判所事務官  
 福田 優子 氏 昇陽高等学校 進路指導部 部長  
 松本 大樹 氏 斑鳩町役場 斑鳩町教育委員会事務局 生涯学習課  
 丸本 沙也加 氏 大阪府立吹田高等学校 進路指導部 教員

＜事務局＞

吉水 大介 大阪法律公務員専門学校天王寺校 校長  
 多賀 義将 大阪法律公務員専門学校天王寺校 教務部課長

### 2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
基準1 教育理念・目標	<p><b>イ. 理念、目的、育成人材像は定められているか</b></p> <p>本学は、学校教育法に定める専修学校制度の趣旨に則り、文化教養に関する正しい知識と的確な技能を授け、もって職業や實際生活に必要な能力を養成し教養を向上させることを目的とする。これを実現するためにカリキュラムの編成や新学科の検討を行っている。理念・目的・育成人材像は、教職員・学生にも周知徹底しており、学外にも広く公表している。また、「学生から信頼され支持される学校づくり」を学園の基本目標として教職員一丸となって取り組んでいる。</p> <p><b>ロ. 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか</b></p> <p>理念・目的は、時代の変化に対応し、現状について常に見直しを図る必要性を認識している。各学科と関連がある官公庁や民間企業が必要とする人材を育成するため、新学科を検討し見直しを行っている。</p>

	<p><b>ハ. 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか</b></p> <p>官公庁希望の多くの学生は、国家公務員・地方公務員の行政職、および警察官・消防官・自衛官などの公安職に毎年採用されている。また、民間企業就職率も高い。これは本学独自の教育システムである「ゼミ学習」によるところが非常に大きい。</p> <p><b>ニ. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか</b></p> <p>現状では3～5年にかけては拡大戦略を立てず、既存の学校の内容充実に努めるべきとの結論に達している。</p> <p>基準1についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自衛隊の職場見学の実施は、学生の職務理解を深め、入隊意欲の向上にも寄与していることから、今後も継続的な実施が望まれる。</li> </ul>
<p>基準2 学校運営</p>	<p><b>イ. 目的等に沿った運営方針が策定されているか</b></p> <p>学園の基本目標として「学生から信頼され支持される学校づくり」を掲げており、教務室、事務室、就職相談室、受付などに掲示している。</p> <p>また、就業規則、給与規程、母性健康管理のための休暇規程、育児休業規程、介護休業規程、ハラスメント防止規程、ストレスチェック制度規程、法令遵守規程などの諸規程が整備されている。</p> <p><b>ロ. 理念等を達成するための事業計画を定めているか</b></p> <p>少子化の中で「学生から信頼され支持される学校づくり」という基本目標のもと、今は拡大戦略を取らず、既存の学校の内容充実に努めることが大切と考えている。職業実践専門課程に関連した自己点検・自己評価、学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会、企業との連携等の実施を続け、内部充実につなげていく。</p> <p><b>ハ. 設置法人は組織運営を適切に行っているか</b></p> <p>組織図があり、それに従って運営されている。</p> <p><b>ニ. 学校運営のための組織を整備しているか</b></p> <p>組織における各部署には、学校の目標達成のために数値目標が明確にされており、各部署の役割と権限、人的体制が整っている。運営組織や意思決定機能は効率的なものになっている。</p> <p><b>ホ. 人事・給与に関する制度を整備しているか</b></p> <p>公務員試験指導、就職指導、資格試験指導、対外活動などで顕著な成果を収めた者はその都度表彰している。昇進試験時に人事考課をしている。</p> <p>賃金の支払い基準を明確に定め、適正に運用している。また、人事制度、働き方、職場改善などについての提言をまとめるため、人事制度プロジェクトを立ち上げ、定期的に会議を行っている。</p> <p><b>ヘ. 意思決定システムを整備しているか</b></p> <p>理事会、評議員会、部次長会議、責任者会議、課会議、公務員企画会議などの</p>

	<p>意思決定プロセスが制度化されている。</p> <p><b>ト. 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか</b></p> <p>情報システムについては、学務システム（入試システムおよび学籍管理システム）、経理システムを個々に運用している。また、インボイス制度や改正電帳法に対応するため、BillOneを導入した。学務システムは、仮想プライベートネットワーク（VPN網）を全拠点で結び、セキュリティを強化している。</p> <p>なお、就職部は求人情報と学生情報をデータベース化して業務の効率化を図っている。在学生への求人情報の提供、学校が取りまとめる求人への申込をオンライン化し、「民間就職支援ポータルサイト」として運用を開始した。また、全教職員にパソコンを貸与し、業務改善に取り組んでいる。</p> <p>基準2についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員と学生との距離が近く、学生にとって相談しやすい環境が整備されているといえる。</li> <li>・校内には就職実績が掲載されており、学生に好印象を与えている。職員との距離が近い点も、学生に良い影響を与えている。</li> </ul>
<p>基準3 教育活動</p>	<p><b>イ. 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか</b></p> <p>カリキュラムポリシーにおいて教育課程の編成方針、実施方針を明確にしている。</p> <p><b>ロ. 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか</b></p> <p>各学科とも修業年限で、官公庁および企業が求めるレベルに到達することを可能にしている。</p> <p><b>ハ. 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか</b></p> <p>本学の授業はゼミ学習方式を採用している。この方法は各業界、各職種に対応する専門的な知識を確実にするばかりでなく、積極性、協調性、表現力、コミュニケーション能力などの人間性をも涵養している。また、教育課程編成委員会を設置し、必要となる最新の内容等をカリキュラムに反映させている。</p> <p>また、官公庁説明会や学内就職セミナーで官公庁および企業から回収したアンケート回答を基にした「社会が求める人材像」を学生に明示しており、様々な人材ニーズに対応できる教育を実践している。</p> <p><b>ニ. 教育課程について、外部の意見を反映しているか</b></p> <p>官公庁説明会および学内就職セミナーで官公庁や企業から得た回答や年2回開催している教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考に、カリキュラム作成委員会を行い、反映させている。</p> <p><b>ホ. キャリア教育を実施しているか</b></p> <p>新入生就職セミナーを実施し、ビジネスマナーや就職ゼミナールなどの科目を設置している。また、官公庁、企業の採用担当者を招く官公庁説明会や学内就職</p>

	<p>セミナーでは、求められる人物像などの説明を直接学生にさせていただいている。</p> <p>平成 26 年度より文部科学大臣が認定する職業実践専門課程制度が発足し、本学 2 年制学科はすべて職業実践専門課程の認定を受け、官公庁・企業等と連携した実践的な演習を各学科で行っている。</p> <p><b>ヘ. 授業評価を実施しているか</b></p> <p>学生による授業評価アンケートを実施して、授業システム見直しのための資料として活用している。</p> <p><b>ト. 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか</b></p> <p>成績評価および単位認定は、学則および専門課程便覧に基づき厳正に行っている。また、成績評価については本学ホームページ上にも公開している。令和元年度より GPA 算定をするために、システムを改修し導入した。GPA の算定については、ホームページ上にも公開している。</p> <p><b>チ. 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか</b></p> <p>学校宛に来たコンテスト等の案内は、掲示板等で学生に周知している。</p> <p><b>リ. 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか</b></p> <p>各学科で目標とする資格・試験を具体的かつ明確に定めている。</p> <p><b>ヌ. 資格・免許取得の指導体制はあるか</b></p> <p>目標とする公務員採用試験までには合格レベルに達するようにカリキュラムを編成している。そして、試験終了後カリキュラム会議を開き、次回に反映させるようにしている。</p> <p>また、在学期間中限定で使用できる Microsoft365 の ID を配布し、Teams を利用したオンライン授業を行い教育サポート体制を整えた。</p> <p><b>ル. 資格・要件を備えた教員を確保しているか</b></p> <p>採用の際、専門性、人間性、教授力、必要資格等を確認し、それらの要件を備えた教員を採用している。</p> <p><b>ヲ. 教員の資質向上への取組みを行っているか</b></p> <p>官公庁や企業等と連携し、最新の動向を取り入れる研修も行っている。</p> <p><b>ワ. 教員の組織体制を整備しているか</b></p> <p>校務分掌一覧を作成し、管理運営面でも協業するシステムを構築している。また、各イベントに際して役割分担表を作成し、協業している。</p> <p>基準 3 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>・昇陽高校では「進学」「アスリート」「専門的なコース」の三本柱を掲げている。地域住民からは特に専門的な分野へのニーズがあるとのこと意見を頂戴しており、学校としては常に地域の要望を意識した教育を展開している。コースについては、パティシエコースが注目されており、生徒数は多くないものの、三本柱の一つとして位置づけられている。一方で、福祉コースの生徒数は減少傾向にある。</p>
基準 4 学修成果	<b>イ. 就職率の向上が図られているか</b>

	<p>公務員採用試験合格に向けて学園全体でカリキュラム会議を定期的開催して情報を交換し、改善を行っている。また本学独自の官公庁説明会には例年多数の官公庁に参加していただいている。</p> <p><b>ロ. 資格・免許取得率の向上が図られている</b></p> <p>学園内各校と定期的取得率向上の会議を開いている。本学独自のゼミ学習を行うことにより力をつけ合格実績を上げている。</p> <p><b>ハ. 卒業生の社会的評価を把握しているか</b></p> <p>卒業生が様々な官公庁で公務員として社会で活躍している。官公庁説明会の担当者からいただいたアンケートで卒業生の活躍について把握している。</p> <p>基準4についての自己評価は委員の方々から「適正」と評価され、次の意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生には、「合格すること」に重点を置きすぎるあまり、受験先以外の情報収集を二の次とする傾向がある。様々な就職先を知るきっかけにもなるため、施設見学は貴重な機会であるといえる。</li> <li>・官庁訪問においては、申込の段階で分野別に振り分けがなされる場合があるが、それについて十分な認識を持たないまま申込みを行ってしまうこともあるため、事前の確認が求められる。</li> <li>・パソコン演習は極めて有効である。実務では、Excelの初歩的な操作をできるだけでも重宝される場面がある。大卒者はPowerPointに特化する傾向があるため、WordやExcelを使いこなせれば差別化に繋がる可能性がある。もちろん、実務で使用するファイルには、あらかじめフォーマットやマクロが組み込まれていることが多いが、知識があれば自作のシートを使用して業務効率を高めることもできる。</li> <li>・裁判所においては、裁判の全体像を十分に理解しないまま入職することも少なく、学生の段階でその全体像に触れる機会を得ることは、極めて有意義である。裁判の傍聴については、初めのうちは内容を十分に把握することが難しいこともあるが、当事者間の主張の対立に着目することで次第に理解が深まり、学生にとって貴重な学びの機会となる。</li> <li>・事務職では異動により業務内容が大きく変わることがあり、場合によっては転職に近いレベルの変化となる。そのため、特に公安系のコースから事務職を志望する学生に対しては、ミスマッチを防ぐための丁寧な指導が必要となる。また、特定の業務に関心を持って入職する者もいるが、必ずしも希望する業務に就けるとは限らないことを、事前に十分理解させておく必要がある。採用説明会では魅力的な業務の紹介が中心となるため、入職後に現実とのギャップが生じないように、丁寧なフォローを欠かしてはならない。</li> </ul>
<p>基準5 学生支援</p>	<p><b>イ. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか</b></p> <p>就職相談室を設け、就職担当者および担任が学生の就職を支援している。今年度より民間就職支援ポータルサイトを立ち上げ、求人票のリアルタイムの閲覧、</p>

エントリーの一元化、就職部と学生の連絡手段の新設により学生が就職活動をスムーズに行えるようにした。

**ロ. 退学率の低減が図られているか**

学校生活におけるアンケートを行い、学生の些細な変化も見逃さないようにしている。

**ハ. 学生相談に関する体制を整備しているか**

学生は担任に相談することが多いが、担任に言えない悩みなどは学生相談室で担当者に相談をしている。また、オンラインにおける相談も設けている。

**ニ. 留学生に対する相談体制を整備しているか**

留学生特有の相談があるので、担当者が相談に応じている。

**ホ. 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか**

日本学生支援機構の奨学生制度などの他に本学独自の特別奨学生試験、各種特待生制度や学費延納制度などがある。

令和2年4月よりスタートした高等教育の修学支援新制度対象校として大阪府より確認された。引き続き令和7年度も確認されている。

**ヘ. 学生の健康管理を行う体制を整備しているか**

年に1回全学生を対象に定期健康診断を実施している。

**ト. 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか**

学生寮運営に実績のある会社の寮を学校提携寮として紹介している。また、学生マンションの企画、管理、仲介を全国的に行っている企業と業務提携をした。

**チ. 課外活動に対する支援体制を整備しているか**

野球部、サッカー部、バスケットボール部、バレーボール部、テニス部、トレーニング部、ダンス部などのクラブ活動や体育祭、学園祭、球技大会などの課外活動にも力を入れている。

**リ. 保護者との連携体制を構築しているか**

出席状況、成績表を年に2回、学生相談室、就職相談室のお知らせ等を年に4回保護者に送付している。また、必要に応じて保護者に連絡を取り、面談をして学生指導を行い、その内容を学務システムに記録している。

**ヌ. 卒業生への支援体制を整備しているか**

学校に訪ねてきた卒業生には、助言、指導を行うが、フォローアップ体制はできていない。

**ル. 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか**

産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施を検討する。

**ヲ. 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか**

社会人のニーズを踏まえた教育環境の整備について検討する。

基準5についての自己評価は委員の方々から「適正」と評価され、次の意見があった。

・学生の就職活動に対しては、保護者が不安を抱えている場合も少なくない。しかし、学生自身は保護者に詳しく話したがる人が多いことのため、学校側が保護者に対して丁寧に対応している点は高く評価できる。こうした姿勢は、スクールカウンセラーの設置など学生の視点に立った取組みと併せて、より良い学校づくり

	<p>を継続していることの表れといえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生は友人同士で相談し合う傾向が強く、どうしても狭いコミュニティの中で問題を抱えがちである。こうした状況を踏まえると、スクールカウンセラーの設置は、学生の心理的負担を軽減するうえで有効であると考えられる。</li> <li>・以前と比較しても、より時代に即した対応がなされていると感じる。今後も他の組織と連携し、変化し続ける学校であることが望まれる。</li> </ul>
<p>基準6 教育環境</p>	<p><b>イ. 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか</b>      設置基準に基づき教室、演習室、教員室、事務室などを設置している。維持管理については定期的な点検整備を行っている。      令和2年度に校内に Wi-Fi 環境とサーバ設備を設置して、オンライン授業を実施した。</p> <p><b>ロ. 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか</b>      学外実習、インターンシップの実施体制の整備を検討する。</p> <p><b>ハ. 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか</b>      防災指導担当者を定め校務分掌一覧に規定し、定期的に避難訓練等を行っている。      防火管理者を置き、消防計画を立てている。      危機管理マニュアルを整備し、教職員に周知徹底を図っている。</p> <p><b>ニ. 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか</b>      学生に保険への加入を勧めている。施設賠償責任保険に加入している。令和6年度入学者より学生全員が、学生・生徒災害傷害保険に加入している。</p> <p>基準6についての自己評価は委員の方々から「適正」と評価され、次の意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昇陽高校では、IT コースの設置に伴い新たに導入した PC や Wi-Fi 環境がすぐに陳腐化してしまうため、オンライン環境の整備が難航している。教室からは黒板が撤廃され、ホワイトボードを使用して授業を行っており、また、プロジェクターの使用が推奨されている。不登校対策として教育支援センターを設置し、今年度からのオンライン授業の実施に向けてシステムを構築中である。また、教室に入れない生徒にも学校で学ぶ機会を提供するため、保健室や校長室とは別の学習室を設け、学年を問わず複数の生徒が利用できるようにしている。これまでは課題を郵送する形で対応していたが、現在はオンラインや別室での対応も行っており、中学校の教員の関心が高まっている。また、成績については、テストの代替として課題を用いることは可能だが、課題のみで高評価を得るのは難しい。高校の授業については、ライブ配信での対応が難しい場合もあるが、録画での対応であれば問題はない。</li> </ul>
<p>基準7 学生の受け入れ募集</p>	<p><b>イ. 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか</b>      毎年公務員合格者一覧および民間企業就職者一覧を作成しており、その際採用</p>

	<p>試験名や企業名・氏名のイニシャル・出身校名を掲載している。また、資格取得実績についても合格者が発表される都度すぐに公表している。</p> <p><b>ロ. 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか</b>      入学案内書、媒体誌、ホームページ、テレビ広告は毎年正確に把握している。合格状況や就職率に基づき作成し、正確でわかりやすい表現になっている。</p> <p><b>ハ. 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか</b>      入学選考に関しては大阪府専修学校各種学校連合会の規定に沿って作成した募集要項により、提出された入学願書の志望理由を中心に調査書・成績証明書も参考にして、本学の理解度、学科の適性、今後のやる気を確認し適正かつ公平に合否の判定を行っている。</p> <p><b>ニ. 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか</b>      入学処理を行いデータとしてすべて把握している。学校基本調査の際に学科ごとの合格率・辞退率を把握している。</p> <p><b>ホ. 経費内容に対応し、学納金を算定しているか</b>      毎年理事会・評議員会で承認されている。変更が必要な場合は理事会・評議員会の承認を経て学則を変更する。</p> <p><b>ヘ. 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか</b>      募集要項に「納付金は入学金を除き全額返還する」ことが記載されており、それに基づき適正に処理されている。</p> <p>基準7についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昇陽高校では、生徒募集の一環として、以前は中学校を訪問していたが、現在は塾を訪問する活動も行っている。併願であっても進学先として選ばれれば、志願者や入学者の増加に繋がる。</li> <li>・IT のデジタルアートコースでは、学校に十分な機器が整っていない状況を踏まえ、大学や専門学校との連携を進めた。同様に、保育コースや看護分野でも大学と連携を図っている。</li> </ul>
<p>基準8 財務</p>	<p><b>イ. 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか</b>      過去5年間、経費削減に全力を傾注してきた。しかし、入学者数の減少に伴い帰属収入も減少している。</p> <p><b>ロ. 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか</b>      過去3年間の収支状況を把握している。      貸借対照表比率、事業活動収支比率の一部分について財務分析を実施している。</p> <p><b>ハ. 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか</b>      過年度の実績をもとに経理部が中心となり、予算編成を実施している。</p> <p><b>ニ. 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか</b>      人件費および管理経費のうち予算額の大きな費用科目については経理部が月次で執行管理をしている。</p> <p><b>ホ. 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか</b></p>



	<p>公認会計士による監査は年間を通じて適時実施されている。監事による監査は毎年5月に監事2名と理事、経理部長を中心に実施されている。</p> <p>へ. <b>私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか</b></p> <p>私立学校法第47条に基づき、財務情報として財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書、監事監査報告書を作成し公開している。</p> <p>さらにホームページ上では事業の概要、財産目録、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表を公開している。</p> <p>また利害関係者からの請求があった場合にも情報公開をしている。</p> <p>基準8についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価された。</p>
<p>基準9 法令等の遵守</p>	<p>イ. <b>法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか</b></p> <p>教育基本法、学校教育法、専修学校設置基準に則り適正な運営を行っている。寄附行為、学則等も整備され、適切に届けられている。法令遵守規程を作成し施行している。</p> <p>ロ. <b>学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか</b></p> <p>個人情報保護規程を設定しており、プライバシーポリシーを設定し公開している。また、学校の保有する情報を委託業者に取り扱わせる際も覚書等で保護の徹底を行っている。</p> <p>ハ. <b>自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか</b></p> <p>本学では、「自己点検・自己評価委員会」を設置し、私立専門学校等評価研究機構の基準により点検、評価を行っている。</p> <p>ニ. <b>自己評価結果を公表しているか</b></p> <p>自己点検・自己評価の結果を「自己評価報告書」としてホームページに公開している。</p> <p>ホ. <b>学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか</b></p> <p>毎年5月に学校関係者評価委員会を設置し、評価をいただいている。</p> <p>ヘ. <b>学校関係者評価結果を公表しているか</b></p> <p>学校関係者評価委員会報告書をホームページに掲載している。</p> <p>基準9についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自衛隊ではコンプライアンス対策の一環として、年に3回程度、各部隊でハラスメント担当者を選任し、オンラインでの教育を通じて、ハラスメント防止を徹底している。また、相談窓口は部隊内だけでなく第三者機関にも設置されており、個人情報が特定されないような配慮がなされている。</li> </ul>
<p>基準10 社会貢献・地域貢献</p>	<p>イ. <b>学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</b></p> <p>現状では特に行っていない。</p> <p>ロ. <b>国際交流に取り組んでいるか</b></p> <p>現状では特に連携していない。</p> <p>ハ. <b>学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか</b></p>

以前より学生の「館外清掃」を奨励し、学生も自発的に校舎外の近隣の道路を掃除している。

基準 10 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。

- ・講師派遣は高校生の現役合格を後押しするほか、不合格となった場合でも立志舎への入学に繋がる。
- ・ボランティア活動の実績そのものよりも、そこから得た知見が重視されるため、公務員試験ではその部分を深く掘り下げることが求められる。
- ・それをボランティアと呼ぶかは別として、オープンキャンパスのスタッフのアルバイトは、公務員試験を受験するうえでの武器となり得るだろう。
- ・昇陽高校にはパーティエコースが設置されており、学校見学では生徒が手作りの菓子の配布が行われている。さらに今後はスポーツコースの設置も予定されており、高齢者と運動を通じた交流を図るなど、地域貢献活動の幅が広がることが期待される。こうした活動を通じて学校の認知度や地域からの信頼が高まり、結果としてその家族や孫世代の入学にも繋がる可能性がある。